

千葉功「曾田三郎『中華民国の誕生と大正初期の日本人』（思文閣出版、二〇一三年）をどのように受け止めるべきか」

【1】 内容要約

序論

第一章 中華民国臨時約法の制定と日本人法学者

第二章 中華民国臨時約法公布後の中国政治と日本人

第三章 中華民国約法期の袁世凱政権と日本人

第四章 中国の帝制復活をめぐる日本の政策と世論

第五章 中国の参戦問題と日本の世論

第六章 南北問題をめぐる日本の政策と中国の新聞報道

第七章 中国の南北問題をめぐる日本のジャーナリズムと学者たち

結論

【2】 重要な指摘

- ①「立憲国家形成の二つの道程」
- ②日本人の袁世凱観
- ③袁世凱観と藩閥政府観のリンク
- ④第一次世界大戦中における「自主外交」論の根強さ

【3】 疑問・質問

- ①臨時約法と宋教仁の関係性
- ②吉野作造と浮田和民
- ③袁世凱が帝制復活に踏み切った理由
- ④日本の新聞が袁世凱を道義的に非難する理由

【4】 本書をどのように受け止めるべきか：これからの課題

- ①比較憲政（憲法）史
- ②憲政（政治制度）の視点を盛り込んだ外交史
- ③比較メディア史